

令和5年度 第1回定例研修会

特別講演「インプラント周囲軟組織の 遺伝子解析からインプラント周囲炎の予防へ」

日時: 令和5年4月9日(日)

場所: ステーションコンファレンス東京

シンポジスト: 河合正樹先生、水口稔之先生、木村健二先生

講師: 佐々木 穂高先生



百瀬 康仁 (東京都)



令和5年4月9日にステーションコンファレンス東京にて令和5年第1回定例研修会が行われ、初めて定例研修会に参加致しました。

内容は CISJ 会員の先生による症例発表、セレクトドクターの先生方によるシンポジウム発表、大学病院の先生をお招きして行う講演会と非常に充実した内容でした。会員発表は熱田 互先生による「Class III 反対咬合患者へインプラントと天然歯の調和を図り咬合回復を行った1症例」を発表されました。反対咬合を呈した部分欠損症例でありながら前歯部の残存歯を保存し審美面に考慮しながら咬合安定を図る非常に難症例で田中会長始め多くの先生方とディスカッションされておりました。次に「海外のインプラント情報を知る」というテーマで3人の先生がご登壇されました。水口 稔之先生による「日本と海外の歯科事情の相違と私の海外研修について」河合 正樹先生による「とある歯科医のインプラント放浪記」木村 健二先生による「IDS2023 第40回ケルン国際デンタルショー視察報告」をご発表頂きました。水口先生のベトナムの歯科医師が日本流のインプラントセンターを作りたいという思いより始まったインプラントセンターのお話、河合先

生の海外での Dental implant institute インストラクターの体験記、木村先生の世界最大規模のデンタルショーへの視察によるデジタル技術の取り組みと世界でご活躍されている方々のお話は非常に刺激的なものばかりでした。

特別講演では佐々木 穂高准教授が「インプラント周囲軟組織の遺伝子解析からインプラント周囲炎の予防へ」という演題でご講演して頂きました。インプラント周囲軟組織の生体防御機能の向上はインプラント周囲炎の予防法の確立に繋がること、大学病院の研究をふまえた高度な講演を拝聴できました。今回定例研修会に参加し多くの先生方と交流でき非常に勉強になりました。10月29日の第2回定例研修会でも多くの先生方にご参加して頂き、またご交流できたらなと楽しみにしております。

